

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 齊藤市政の取組状況と今後について （40分）</p> <p>齊藤市政の誕生から、早や3年7か月が経過し、本年11月には、1期目の市長の任期満了を迎えます。この3年半余りの間も社会情勢は日々目まぐるしく変化し続けています。特に、昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世界中が一変し、人々の生活はもとより、社会経済等も甚大な影響を受けております。このような時こそ、市民の安心・安全の生活を守り、第6次鶴ヶ島市総合計画に掲げる「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」の実現に向けて、市民と一体となって取り組むことが、市長としての最大の責務と思います。任期満了を迎えるにあたり、これまでの市長としての取組状況と今後への思いについて以下質問します。</p> <p>(1) 市長就任での市政運営方針について</p> <p>ア 子育て支援の充実と学力向上への対策</p> <p>イ 市民活動への支援</p> <p>ウ 高齢化への対応</p> <p>エ 農大跡地とその周辺の都市整備と産業の振興</p> <p>オ 財政基盤の確立と鶴ヶ島方式の市民サービスについて</p> <p>(2) これまでの任期中で最も力を注いでこられた施策について</p> <p>(3) 今後の進むべき方向性について</p>	<p>市 長</p> <p>教育委員会教育長</p>
<p>2 公共施設個別利用実施計画(案)における学校再編の考え方について （20分）</p> <p>本計画(案)の学校再編・長寿命化の基本方針では、学校教育における重点事項として、「学力向上」、「いじめ根絶」、「不登校対策」、「安全な登下校」を掲げ、鶴ヶ島市の子どもたちのために、現在の学校教育の水準を将来にわたって維持・向上し、良好な教育環境の整備・充実を図るよう学校再編・長寿命化を行うとあります。このことを踏まえ、学校再編の検討に必要な考え方として、8項目が示されています。当然のことながら、学校再編が実行されることにより、基本方針に沿った学校教育が遂行されることが大前提であります。公共施設の再編に当たっては、直近15年間の計画期間に示されている主なハード面の工事内容等について、必要経費や削減効果の説明を政策説明会で受けました。しかし、本来の学校教育に</p>	<p>市 長</p> <p>教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>おける重点事項に掲げられている、いわゆるソフト面については学校再編が進められていく経過期間の中で、児童・生徒、保護者、そして、地域の方々へのアプローチや再編に伴う変更項目等の検討をどのような形で進めていかれるのでしょうか。そこで、学校再編の考え方の中から以下質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 適正規模を確保することの考え方について</li><li>(2) 1つの小学校の卒業生が全員同じ中学校に通学する通学区域の実現について</li><li>(3) 学校の多様な教育方法に対応できる自由度の高い学習空間の整備について</li><li>(4) 安全・快適な学校施設について</li></ol>	